

化学企業での技術者としての仕事を振り返って

猪股 勲

<略歴>

- * 東大工学部工業化学修士課程修了 (1969 年)
- * 三菱化学 (旧三菱化成) (1969~1998 年) : 総合研究所、有機事業部、化成品事業部、石化製品事業部、石化企画室、三菱化学ヨーロッパ (ドイツ 5 年滞在)、石化企画室、経営企画室、塩ビ事業部、樹脂企画管理部兼
- * 三菱樹脂 (1998~2007 年) : 企画開発室、エコロジー事業推進プロジェクト
- * 日本バイオプラスチック協会 (2007~20015 年)

<仕事を振り返って>

1969 年大学の修士課程を修了し、当時の三菱化成工業に入社しました。当時、東大紛争で、安田講堂が封鎖されていたところで、とても、大学で研究を続けることに希望が見いだせず、早く社会に出たいと思っていましたが、今考えると、社会に出て、仕事で何をやりたいという明確なビジョンは持っていなかったように思います。学術的な道に進むのを止めたのだから、実業的な仕事をと漠然とと思っていました。その後の会社人生は、結果的に、その線に沿った結果になりました。

紆余曲折はもちろん、反省したことも多々ありましたが、後悔はしていません。楽しいことの多かった仕事人生であり、多くの人とのつながりの中で、貴重な時間を過ごせたと思っています。

<講演要旨>

石油化学が主流の時代に、その粗原料から、一次石油化学誘導品 (化成品)、プラスチック素材、プラスチック成形品と幅広い範囲での事業分野で仕事をさせていただき、最後は、石油化学の申し子のようなプラスチックを、石油資源からではなく、再生可能資源である、バイオマス資源由来の原料に変える試みを推進する立場で仕事してきた立場から、今後の化学工業をどう考えるか、少しお話してみたいと思います。むしろ、参加される皆さんから、今後の化学工業の将来に対して持っている期待とか、懸念とかを聞かせていただき、一緒に議論させていただければと思っています。